サポート情報記事

My Tasks のデータ ソース: Planner、 To Do、 Outlook、 SharePoint、 Project Online、 Azure DevOps

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

ソースの一覧 4

Planner 5

To Do と **Outlook** 5

SharePoint 6

プロジェクト 6

Azure DevOps 7

ステータスと優先度 7

アクセス許可の一覧 8

用語 10

概要

My Tasks Web パーツでは、最大 6 つのソースを 1 つの一覧にまとめることができます。各ソースには、プロパティ ウィンドウの **データ ソース** グループに専用のトグルがあります。この記事では、各ソースが読み込む内容、必要な条件、**プロジェクト名**、**タスクの状態**、**優先度**の各列でのデータの表示方法について説明します。

すべてのソースに共通する規則は次のとおりです。

- **サインインしているユーザーに割り当てられた**タスクだけが表示されます。
- 要求が失敗したソースは通知なしにスキップされ、他のソースは引き続き表示されます。
- この Web パーツはタスクを読み取るだけで、作成や変更は行いません。
- オフにしたソースには問い合わせません。すべてのソースをオフにすると、一覧は空になります。

ソースの一覧

ソース (トグル)	読み込まれる内容	要件	制限
Planner	自分に割り当てられた、完了率が 100% ではない Planner のタスク	**Microsoft Graph** のアクセス許可 *Tasks.ReadWrite*	上限の記載なし
To Do	*フラグを設定したメール*を除く、すべての Microsoft To Do リストのタスク (完了したタスクは除外)	*Tasks.ReadWrite*、To Do が有効なメールボックス	上限の記載なし
Outlook	フラグ付きメール (To Do の *フラグを設定したメール* リスト)。完了したものは除外	*Tasks.ReadWrite*、自分のメールボックス (共有メールボックスは含まれません)	上限の記載なし

ソース (トグル)	読み込まれる内容	要件	制限
SharePoint	自分に割り当てられた SharePoint タスク リストの項目 (コンテンツ タイプ *Task*)	SharePoint 検索がサイトをインデックス化していること	最大 100 件
プロジェクト	自分に割り当てられた Project Online または Project Server サイトのタスク	Project Online のサイト テンプレート、SharePoint 検索	最大 100 件
Azure DevOps	組織全体で自分に割り当てられた作業項目	Azure DevOps の *user_impersonation*、組織名	割り当てられたすべての項目

Planner

Microsoft Graph を使用して、自分に割り当てられた Planner のタスクを読み込みます。すでに 100% 完了しているタスクは含まれません。

- プロジェクト名: プランのタイトル。プランにアクセスできない場合、値は空になります。
- タスクの状態: タスクの内容から算出されます。タスクにチェックリストがある場合、すべての項目が未完了の間は *未開始*、一部が完了していれば *進行中*、すべて完了していれば *完了* になります。チェックリストがない場合は完了率が使われ、50% 未満は *未開始*、50% ～ 99% は *進行中* になります。
- 優先度: Planner の優先度は、*緊急* (Planner の緊急)、*高* (Planner の重要)、*通常* (Planner の中)、*低* に変換されます。
- 作成者: タスクを作成したユーザーの名前。名前は Microsoft Graph で解決されるため、アクセス許可 *User.ReadBasic.All* が必要です。
- タスク名をクリックすると、新しい Planner でタスクが開きます。
- 自分が所属するプランのすべてのタスクではなく、自分に割り当てられたタスクだけが表示されます。

To Do と Outlook

どちらのソースも、Microsoft Graph を使用して Microsoft To Do のデータを読み込みます。**To Do** は、システム リスト *フラグを設定したメール* (英語表示では *Flagged email*) を除く、すべてのリストのタスクを読み込みます。**Outlook** は、そのリストにあるフラグ付きメールを読み込みます。完了した項目は読み込まれません。

- **プロジェクト名**は、タスクでは *To Do*、フラグ付きメールでは *Outlook* になります。
- **作成者**は、どちらのソースでも仕様上空になります。
- To Do タスクの**タスクの状態**は、*未開始*、または Microsoft To Do が報告するその他の未完了の状態になります。**優先度**は、タスクの重要度に基づいて *低*、*通常*、*高* のいずれかになります。
- フラグ付きメールを表示するには、To Do が有効なメールボックスが必要です。共有メールボックスは含まれません。

SharePoint

割り当て先列に自分が指定されている SharePoint タスク リスト (コンテンツ タイプ *Task*) の項目を読み込みます。クエリは自分のコンテキストで SharePoint 検索を介して実行されるため、アクセス許可が適用され、開けない項目が表示されることはありません。

- **プロジェクト名**: リストを含むサイトのタイトル。
- **タスクの状態**と**優先度**: リストの**タスクの状態**列と**優先度**列の値が、サイトの言語を含め、SharePoint に表示されるとおりに使われます。
- このソースからは最大 100 件のタスクが読み込まれます。
- データは検索から取得されるため、新しく作成または変更された項目は、検索クロールで処理された後に表示されます。
- 検索結果から除外されているサイトやリストは検出されません。

プロジェクト

SharePoint ソースと同様に、Project Online または Project Server サイトのタスクを読み込みます。つまり、SharePoint 検索を介して、自分に割り当てられた項目を最大 100 件まで読み込みます。これらのプロジェクト サイトのタスクは **SharePoint** ソースには含まれないため、タスクが重複することはありません。フィールドの対応関係は **SharePoint** と同じです。

Azure DevOps

Azure DevOps 組織全体で自分に割り当てられた作業項目を読み込みます。Azure DevOps の *My work* ページと同じ一覧です。呼び出しは自分自身の ID で行われるため、Azure DevOps ですでに表示できる内容だけが表示されます。

- **組織**を入力します。アドレス `dev.azure.com/<organization>` に含まれる名前です。
- **プロジェクト名**: Azure DevOps のチーム プロジェクト。
- **タスクの状態**: 作業項目の状態 (例: *New*、*Active*、*Resolved*、*Closed*)。
- **優先度**: 作業項目の数値の優先度 (1 ～ 4)。
- **期限**: プロジェクトのプロセスに期限フィールドがある場合に表示されます。
- **タグ**: 作業項目のタグ。作業項目の種類 (*Bug*、*Task* など) は**タスクの詳細**パネルに表示されます。
- タスク名をクリックすると、Azure DevOps で作業項目が開きます。

メモ

自分に割り当てられた作業項目ではなく、保存済みクエリの結果を表示するには、2 つ目の Web パーツを使用します。詳しくは、KB10304. Azure DevOps Query Viewer: セットアップとクエリの接続と KB10209. Azure DevOps Query Viewer Web パーツのインストールと構成方法を参照してください。

ステータスと優先度

ソース	タスクの状態	優先度
Planner	未開始、進行中、完了 (チェックリストまたは完了率から決定)	緊急、高、通常、低
To Do	未開始、または To Do が報告する状態	低、通常、高
Outlook	未開始、または To Do が報告する状態	低、通常、高
SharePoint、プロジェク	リストの**タスクの状態**列	リストの**優先度**列の値

ソース	タスクの状態	優先度
ト	の値	
Azure DevOps	作業項目の状態	1 ～ 4 の数値

この表のステータス名を　除外ステータス(カンマ区切り)　に入力すると、そのステータスを非表示にできます。詳しくは、KB10298. My Tasks: 除外ステータスとタスク一覧の絞り込みを参照してください。



さまざまなソースのタスクを 1 つの一覧に表示し、ソースで絞り込んだ状態

アクセス許可の一覧

ソース	アクセス許可またはアクセス
Planner、To Do、Outlook	Microsoft Graph の *Tasks.ReadWrite*、*User.Read*、*User.ReadBasic.All*
SharePoint、プロジェクト	ユーザーのコンテキストでの SharePoint 検索 (セキュリティ トリミング)
Azure DevOps	Azure DevOps の *user_impersonation*

アクセス許可は、テナント管理者が　1　回承認します。詳しくは、KB10303. My Tasks: 必要なアクセス許可、プライバシー、セキュリティを参照してください。



Azure DevOps タスクの詳細パネル

警告

アクセス許可名 *Tasks.ReadWrite* は、Planner と To Do のタスクを扱うために Microsoft Graph が要求するものですが、この Web パーツはタスクの読み取りにのみ使用します。タスクの作成、編集、削除は行いません。

ヒント

いずれかのソースでタスクが表示されない場合は、上の表で要件を確認してから、KB10307. My Tasks のタスクが表示されない、または読み込まれないのはなぜですか?を参照してください。ソースのオンとオフの切り替えについては、KB10289. My Tasks Web パーツを追加して構成する方法を参照してください。

用語

Microsoft Graph
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

コンテンツ タイプ
ドキュメントやリスト アイテムなど、特定のカテゴリの情報を定義する、再利用可能な設定とメタデータのコレクションです。メタデータ フィールドとドキュメント テンプレートが含まれており、リストやライブラリ全体で類似するアイテムを一貫して管理および整理できます。

リスト
リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。